

令和7年度 第3回西区まちづくり懇話会(要旨)

1 日 時 令和7年(2025年)11月18日(火)午前10時00分～

2 場 所 西部交流センター A・B 研修室

3 出席者 計36名

・西区まちづくり懇話会委員(10名)

川副会長、岡委員、久保委員、徳永委員、本田委員、松島委員、清川委員、西委員、吉永委員、内村委員

・事務局(26名)

西区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、総務企画課職員(4名)、区民課長、西区管内まちづくりセンター所長(3名)、芳野分室長、河内交流室長、西区土木センター所長、西区土木センター総務課長、西区土木センター維持課長、西区土木センター河内分室長、西区福祉課長、西区保護課長、西区保健子ども課長、西税務室長、西南部農業振興センター所長、西南部農業振興課長、基盤整備課長、農業委員会事務局西南分室長

4 内容

- (1) 第2回西区まちづくり懇話会ワークショップ報告について
- (2) 西区フォトコンテストについて
- (3) 令和7年度(2025年度)西区事業の進捗について

5 議事要旨

●議題1 第2回西区まちづくり懇話会ワークショップ報告について

<資料1について 事務局から説明>

(川副会長)

運営に関して、少しバタバタした感じはあるが、拘束時間を考えると90分ぐらいが限界ではないかと思う。年代の違う人が打ち合わせをしながら自分の住んでいる地区について話し合うプロセスに意味があると感じている。

(岡委員)

学生と話せるのはいい機会だが、時間が足りない。学生が話しながらポスターまで仕上げるのが大変だと感じた。地域の方から昔はこういう所だったという話を聞いて参考になったという話が学生から上がっていたので、今後、昔の西区の話をしていくと若者がより西区に定着することにつながるのではないかと感じた。

(久保委員)

自分が住んでいる地域では、年に3回程度高齢者と子どもたちが一緒に楽しめるゲーム大会やグランドゴルフ大会を行っている。

(松島委員)

若い方が世代を超えて話すことで住んでるまちに関心を持つこと、歴史を知ることが有意義だと思う。

(清川委員)

前もってワークショップの中身を知っていればという意見もあったが、短時間だから出る意見もあるのではないか。学生の方達が知らないことは知らないということをはっきりと表現してくれて、それを知るいい機会だった。

(吉永委員)

自分が住んでいる校区での世代を超えた交流はとても有意義だった。地域の人たちから学生へ、学生から地域へというのはとても大事なことだと思う。中高生たちと交流ができる機会をたくさん持てるような場所を作る役割も懇話会にはあり、この懇話会がこれから地域に根差すようにと考える上でも有意義な会だった。

(内村委員)

お年寄りと学生が昔話を交えながらポスターを作成できたのはよかったが、時間が少し足りなかった。もう少し仕上げ、それを各学校に持ち帰ったり、PTA 新聞で紹介したりできたらいいなと思った。

(徳永委員)

世代間交流はとても大事だと思う。短時間でポスターを作るのが大変ということで、西区には崇城大学、芸術学校があるため、ポスター仕上げの際にアドバイスをいただくのはどうか。

(本田委員)

学校と繋ぐことは大事。学校の代表できた子がワークショップのことを持ち帰り全校に校内放送等で伝えることができるかが、ワークショップがこれから発展していく境目になるのではないかと。我々も地域に持ち帰って、報告をこれから心掛けていかないといけないと感じた。

(西委員)

ポスターを拝見して、見ただけでどこの校区か分かるくらいのを短時間で完成させており素晴らしい。高齢者は若者達に豊富な知識を伝え、そして若者が SNS 等で発信するきっかけになると思う。

(川副会長)

今日の意見のキーワードは発展させるためにはどうしたらいいかという所で、一過性ではなく何かしら持って帰ったりするようなことができないかという話や仕上げのところはその道でテクニックのある大学生とかに声をかけられないかという話が出てきた。

(岡委員)

せっかくいいものをいつも作ってるが、あまり目にもすることもないため、そこは改善点だと思う。

(西委員)

ポスターの情動的な展開ということで二次元コードがある。

(吉永委員)

市政だより等に懇話会の記事を載せる時に、一緒にポスターが見れる二次元コードを載せたらいいのではないかと。

(川副会長)

学生がすごく頑張ってる印象がある。教育というと知識を覚える、提供するという学校の教育もあるが、個性や創造性を学ぶためにはこういう機会が大事だと思うので、ぜひその機会の提供という形で学生に入ってもらいたいと思う。

●議題2 西区フォトコンテストについて

<資料 2 について 事務局から説明>

(清川委員)

審査基準はどういうものが考えられるのか。

(川副会長)

審査方法は、例えば持ち点があっていくつか選ぶやり方や得点制などがある。審査基準という観点になると、例えば前回のワークショップで「西区の魅力」に合致するようなものを選ぶやり方もある。現時点では決定していないため、審査方法及び基準について、皆さんからご意見があればいただきたい。

(久保委員)

最大 20 作品を 30 作品にできないのか。

(事務局)

応募期間が終わり、作品数に応じて枚数は検討する。

(本田委員)

応募フォームを見て、題名と撮影場所はあるが、なぜ自分がそれを撮影したのか、なぜこの写真を送ろうと思ったのかというのを記載するところがない。審査する立場として、重要な部分だと思う。

(川副会長)

画像とか映像は思いがあるから大切なもので、それがなくてただ美しい画面になってしまう。20 作品残った場合、追加で調査することはできるか。

(事務局)

検討させていただく。

(松島委員)

一般投票は、最終審査にどのように反映されるのか。

(川副会長)

せっかく一般投票を行うので、その結果も加味した形で動くのがいいと思う。

(清川委員)

一般審査賞を作ってはどうか。

(松島委員)

一般審査賞が最終審査で選ぶものと合致する場合もある。懇話会委員の得票が 50% に一般の方の 50% を加点するやり方もあるのではないかな。

(久保委員)

プロの方に審査はしてもらわないのか。

(事務局)

現時点では考えていない。

(川副会長)

感覚的なものになり、評価はかなり難しいところになるので、合議で皆さんの意見を集約していきながら決めていくことになると思う。得点制よりはいい写真を3つほど選んでいただき、一般投票も加味して決めていく流れになるのではないかと思う。

(本田委員)

今出ている作品を見て風景が多いのか。人や祭りの写真もあるのか。

(事務局)

風景が多いが、人や祭りの写真もある。

●議題3 令和7年度(2025年度)西区事業の進捗について

<資料3について 事務局から説明>

(吉永委員)

保健こども課の「いのちのふれあい学校事業」について、今年度学校で実施されているが、学校への働きかけはこれまでどのように行っていたのか。

(事務局)

西区管内の中学校8校中、6校には説明済み。校区担当の保健師が説明を行っている。

(本田委員)

地区防災計画について、雛形はあるのか。西区ではどこが作っているのか。作成主体はどこか。

(事務局)

参考例はあり、地域の特徴に合わせて独自に作成。西区では中島校区が作成中。校区防災連絡会等が主体で作成。

(本田委員)

学校関係で、今後コミュニティ・スクール構想が実現していくと考えられるため、教育委員会と早い段階から連携をとっていただきたい。

福祉課の災害支援被災者支援はいつまで申請できるか。

(事務局)

り災証明書窓口受付、被災届出証明書、畳張替費用助成金は11月28日まで。災害援護資金は1月末までの予定。被服、寝具等の生活必需品の支給は10月24日まで。

(吉永委員)

西区魅力アップチャレンジプログラム事業のアイデアコンテストは今年はどうなっているのか。

(事務局)

アイデアコンテストの募集は昨年度で終了し、今後は地域と企業をつなぐ事業に展開を変えていこうと思っている。